






<p>中小企業の生き残り作戦！</p>   <h2>2013年 今年の動向</h2> <h3>三本の矢～新産業革命</h3>  <p>株式会社 IMEコンサルティング 代表取締役 立居場誠治</p> 	<h2>定期経営セミナー開催要領</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>場所 大田区産業プラザ(Pio) 蒲田</li> <li>日時 3月1日(金) F会議室 (2月分) 3月22日(金) F会議室</li> </ul> <p>18:30から2時間程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ - 企業経営関連のテーマを時期と希望により選定する</li> </ul>
<h2>世界経済</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界経済は回復の兆しが見え、マネーの流れも活発化</li> <li>米国のシェールガス採掘は世界のパワーバランスを変える可能性がある。</li> <li>欧州や南米経済などは依然として厳しい。</li> <li>世界経済の状況は、依然として深刻。2012年末にIMF:国際通貨基金が見通しを下方修正</li> <li>アメリカの「財政の崖」や、出口の見えない欧州債務危機など、13年も明るい材料に乏しい。</li> </ul>	<h2>閉塞する世界経済</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化の行き詰まり</li> <li>本当の危機はこれから起きる</li> <li>世界経済は、グローバル化を肯定してきたが</li> <li>長引く景気悪化により限界も見えてきた</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>グローバル化 従来の国家や地域などのタテ割り境界を超え、地球が1つの単位になる変動の趨勢や過程。</p> </div>
<h2>資源・エネルギー シェールガスが変える世界力学</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>2013年の世界のエネルギー動向として最も重要なファクターは「シェール革命」</li> <li>米国でのシェールガス、シェールオイルの採掘により、世界のエネルギー・パラダイムが転換期に突入。</li> <li>世界のパワーバランスが変わろうとしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 米国の中東関与が希薄になる</li> <li>- 日本のエネルギー戦略も転換を求められる。</li> </ul> </li> </ul>	<h2>米国景気</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>バブルの後遺症が重荷となっている</li> <li>2013年の米国景気は、「財政の崖」を乗り越えれば、展望は暗くない</li> <li>リスク要因は政治の膠着(こうちやく)</li> <li>2013年の米国経済は、雇用、住宅市場の緩やかな回復により、成長率2%程度が予想される。</li> </ul> <p>2012.1.24 米国の「債務不履行」は当面回避 債務上限の引き上げを5月19日までに容認する 23日に米議会下院で可決 上院でも可決した後、オバマ大統領が署名 → 債務不履行の恐れは当面回避されることになった</p>
<h2>欧州景気</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済は依然厳しい状態 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ギリシャとスペインの不安は払しょくできず不安は続く</li> <li>- 製造拠点はアジアへ移転</li> </ul> </li> <li>13年の欧州経済を展望すると、緩慢な景気回復 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 域外向け輸出に回復の動きが広がるに連れ、13年半ばには景気が底入れに向かう展開。</li> <li>- 景気は底入れするものの、非常に緩やかなベースの回復にとどまる可能性が高い。</li> <li>- プラス成長は秋口から</li> </ul> </li> <li>欧州は日本と同じように「失われた10年」を経験するかもしれない。</li> </ul>	<h2>中国景気</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国経済は2012年8月に底を打ち、緩やかな回復局面に入っている。</li> <li>2013年は金融緩和と財政出動等で、8.0%前後の成長</li> <li>ただし、家計消費拡大と国有企業民営化なくして中国の8%台成長はあり得ない？</li> <li>中国が再び高成長率を達成するには、成長モデルを改める必要がある。</li> <li>日中相互依存はさらに深化</li> </ul>

<h3 style="text-align: center;">ASEAN景気</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高成長のインドネシア、フィリピン</li> <li>・ 開放政策で注目のミャンマー</li> <li>・ ASEANは米欧向け輸出の鈍化で減速するが、都市化の進展など消費市場として成長が見込まれる。</li> </ul>	<h3 style="text-align: center;">新興国景気</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メキシコ、マレーシア、トルコ、フィリピンの4カ国が有望</li> <li>・ 世界経済の牽引役として新興国への成長期待は依然大きい。投資には選別が欠かせない。</li> </ul>
<h3 style="text-align: center;">2013国内動向 倒産リスク</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倒産件数押し上げにつながる3つの要因             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 中小企業金融円滑化法の終了(3月)</li> <li>② 大手電機ショックの再燃(5月)</li> <li>③ 消費増税前の駆け込み需要の増加(9月)</li> </ol> </li> <li>・ 業績悪化が続き、資金繰り的にも限界に達しつつある中小零細企業の経営を直撃するおそれがある。</li> </ul>	<h3 style="text-align: center;">日本経済</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13年後半に向け景気回復へ</li> <li>・ 賃金下落続きデフレは継続</li> <li>・ 景気後退、長引くデフレ、経常収の悪化…課題山積の日本経済は成長軌道に戻れるのか。</li> </ul>
<h3 style="text-align: center;">日本経済を救うアベノミクス 経済再生への「3本の矢」</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衆議院選挙、自民党大勝…得票率27.6%</li> <li>・ 2012年11月に就任した安倍晋三首相が発表した経済再生への「3本の矢」</li> <li>・ 「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の3つを組み合わせた経済再生プラン</li> <li>・ 株高・円安が続く市場関係者から、今のところ喝采</li> <li>・ 成長戦略の詳細は、6月に発表予定</li> </ul>	<h3 style="text-align: center;">生産動向・新産業革命 一人でもメーカーになれる</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新製品アイディア             <ul style="list-style-type: none"> <li>- シーズorニーズ・アプローチ、セレンディピティ</li> </ul> </li> <li>・ 試作             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 3Dプリンター、レーザー加工機、CADソフト</li> </ul> </li> <li>・ 資金集め             <ul style="list-style-type: none"> <li>- クラウドファンディング</li> <li>- ベンチャー投資家は、ハードウェア支援の機運向上</li> </ul> </li> <li>・ 部品調達             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 電子部品の価格下落、ネット調達可能</li> </ul> </li> <li>・ 製造             <ul style="list-style-type: none"> <li>- EMSの発達でファブレス生産が容易に</li> </ul> </li> <li>・ 流通販売             <ul style="list-style-type: none"> <li>- ネットで世界中に販売可能</li> </ul> </li> </ul>
<h3 style="text-align: center;">3Dプリンター</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CAD、3Dスキャナ</li> <li>・ → 3Dプリンター</li> </ul>  <p>2013年01月07日 12時00分14秒 約4万5000円でゲットできる安価な3Dプリンター「RoBo3D」</p> <p>在庫物産で作る3Dプリンターは高価なものも約数万円、半導体の（電費+労力）が半分の強み。しかも、通常の価格を大きく下回る約4万5000円（320%）で購入可能な3Dプリンターが現在開発中。Kickstarterにて出版を募ります。</p> <p>現場改善のポイントがわかる！ 3Dプリンター「アジリスタ」を導入した理由 vol.1~4</p>	<h3 style="text-align: center;">ものづくりはしたいが元手がない 「クラウドファンディング」</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の資金調達手段といえば、助成金、銀行、ベンチャーキャピタルの投融資が一般的。</li> <li>・ クラウドファンディングは、インターネットでもものづくりなど実現したいプロジェクトのアイデアを宣言し、数百円から数万円までの支援金を賛同者から募る仕組み。</li> <li>・ 目標金額に達し、プロジェクトが実現した場合、投資家は商品そのものやイベントへの招待など、支援額に応じた「リターン」を得られる。</li> </ul>